

原水禁世界大会・長崎

『被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために』をテーマに「原水爆禁止2023年世界大会・長崎」が4年ぶりにリアルで開催され、石川から新婦人の親子など12名が参加しました。

県平和委はオンラインで視聴参加

石川県平和委員会は代表を送れませんでしたが、初日の開会総会と2日目の閉会総会にオンラインで視聴・参加（「みのり」で）しました。

大会は台風の影響で7・8日の2日間に短縮して行われました。

今年の大会は、ロシアのウクライナ侵略と核使用威嚇が行われる緊迫した中で開かれ、国連の中満泉事務次長や核禁止を強

く推進しているオーストリア、メキシコ、マレーシアなどの政府代表や世界各地で活動している市民団体の代表が多数参加しました。

被爆者とともに核兵器禁止条約のさらなる発展と未参加国、特に日本政府に対して条約批准を求めていくことが強く発信されました。

平和を次の世代に 会員が多彩な企画に携わり、汗を流しました

8月は広島・長崎の原爆忌、終戦記念日。あらためて平和に思いめぐらす多彩な企画があり、会員はそれぞれの立場で汗をかきました。

- ◆7月19日、県庁展望ロビーで「被爆ピアノコンサート」。
- ◆7月29日に卯辰山の平和の子ら像前で、4年ぶりの「ピースデー」が開催されました。
- ◆8月2日～16日、県庁19階の「平和のパネル展」で、

小松基地司令 石引大吾 様

小松基地でのイタリア空軍及びオーストラリア空軍との
共同訓練の中止を求める申し入れ

2023年7月31日

日本共産党石川県委員会 委員長 秋元邦宏
日本共産党加南地区委員会 委員長 坂本浩
石川県平和委員会 事務局長 柴原和美
清潔で明るい小松をつくる会 代表委員 東洋子

航空幕僚監部は、7月25日付で「日伊共同訓練の実施について」及び「日豪共同訓練の実施について」と題して、小松基地及び同基地周辺空域を使って共同訓練の実施を発表している。

今回のイタリア空軍及びオーストラリア空軍との共同訓練は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現のための防衛協力の深化を謳っているが、これは中国を敵視し中国包囲網を構築するもので、緊張が続く中国との関係を更に高めることになりかねない。

また、今回の共同訓練は、航空自衛隊を含め多数のF35A戦闘機が小松基地に集結し実施されることになっている。F35戦闘機は、安全上の問題から新たな部品の取り付けがあこなわれるなど安全面での不安をかかえる機体である。F35戦闘機の騒音をめぐっては、アメリカ国内では環境影響評価に基づき配備計画の見直しがあこなわれている。このような機体を使っての共同訓練は、小松基地周辺の住民の安全や生活環境を軽視するものである。

これらの理由をもって次のことを強く求める。

記

1、日伊共同訓練及び日豪共同訓練を中止すること。

被爆者の西本多美子さんの「たみちゃんのノーモアヒロシマ」の紙芝居が初めて上演されました。

県原水協の長年の運動で、県内各自治体で「人間と原爆展」が開催されました。一瞬にして人間が消えた。その後も放射能で苦しむ人たち。この惨状に目をそむけないで—と、足を運んだ親子連れに問いかかけました。

ニュース フラッシュ

6月15日 エムザ前で「沖縄連帯宣伝署名行動」（7/15日も）。

18日 「沖縄、再び戦場いくさばへ」 映画上映（7/17加賀市。/29小松市でも）。

19日 市民アクション・いしかわ宣伝行動（7/19日も）。

21日 エムザ前で「核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名行動」（7/22日も）。怒りの昼デモ（隔週水曜日）。

24日・25日 日本平和委員会全国大会。

7月2日 額地域九条の会の「学習会」で柴原さんが話題提供。

3日 改憲NO！宣伝署名行動。

5日 昼デモ。なんぶアクション合同スタンディング（平和町）。

6日 エムザ前で「6・9署名行動」。石川民医連職員研修で、柴原事務局長、村中常任理事がガイドしました（20日にも）。

19日 市民アクション・いしかわ宣伝行動（8/19日も）。

23日 県労連の「サマーセミナー」で柴原さんが講師を務めました。

29日 「ピースデー」沢山のや折り鶴が持ち込まれました。

和の子ら像前で
「原爆詩」
を朗読した
平



8月2日～16日 県庁展望ロビーで「平和のパネル展」。

2日 なんぶアクション合同スタンディングアピール。

3日 改憲NO！宣伝署名行動。「戦争と医学医療研究会北陸支部公開講演会」。

7日・8日 原水爆禁止世界大会（長崎）。

※この間、小松基地爆音訴訟第7次訴訟説明会が行われ、8月14日現在、原告1628人に。